

第2学年〇組 学級活動（1）指導案

日 時 平成〇〇年〇〇月〇〇日（〇）第〇校時
授業者 〇〇 〇〇
生徒数 男子23名 女16名 計39名

1 議題 「一人一人が居心地の良いクラスを作ろう」

内容（1）学級や学校の生活づくり ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決

2 議題について

（1）生徒の実態

本学級は、元気で明るい生徒が多く、比較的男女の仲も良い学級である。「勉強を頑張りたい。」「部活動を頑張りたい。」など、中堅学年として学校生活に意欲的な姿勢が見られる。一方で、友達と接する際に、楽しさや親しみが前面に出てしまい、深く考えずに相手を傷つける言動も見受けられる。先日行われた合唱コンクールまでに培ってきた人間関係を更に深め、本時の話し合い活動を通じて家族のような一層温かい人間関係づくりにつなげたい。

（2）議題設定の理由

全校生徒を対象に学校生活アンケートを実施したところ、「みんな仲良く過ごしたい」「からかいやふざけをなくしたい」など、よりよい人間関係を築きたいと感じている意見が多く挙げられた。このことから本校は、一人一人が居心地良く安心して過ごせる学校・学級づくりが一層の課題であることが分かった。そこで、生徒会本部役員選挙が終わり、新体制となった生徒会では、一人一人が居心地の良い安全な学校にするために「高西スマイルチャレンジプロジェクト」を企画した。この企画は「一人一人が居心地の良い安全な学校づくり」に向けた手立てを各学級で話し合い、それを実践するというものである。各学級での取組については、実践後に振り返りを行い、集会で実践報告を行うという内容である。

「高西スマイルチャレンジプロジェクト」の取組を通して、望ましい人間関係を形成する力、誰とでもよりよい生活が築いていける力を身に付けさせたい。学級で決定した事項において自発的、自治的な活動を展開すると同時に、学級活動と生徒会活動との関連を図り、全校生徒が一丸となって「一人一人が居心地の良い安全な学校・学級」を作り上げるために本題材を設定した。

< 9月 全校生徒学校生活アンケート結果 回答252人 >

・学校は楽しいですか。	はい 82.5%	いいえ 13.5%
・友達に悪口を言われたり、からかわれたりしたことがありますか。	はい 19.8%	いいえ 76.2%
・わざとぶつかられたり、遊びのふりをして叩かれたり蹴られたりしたことがありますか。	はい 6.7%	いいえ 89.3%

< 「高西スマイルチャレンジプロジェクト」の流れ >

9月 全校アンケート	10月 生徒会プロジェクト→ 「スマイルチャレンジ」	11月 学級活動 取組についての 話し合い活動	12月 実践 振り返り	1月 生徒会シンポジウム 各クラスの取組発表 「スマイル宣言」
---------------	----------------------------------	---	-------------------	--

3 研究課題との関わり

(1) 西部地区学力向上のための授業研究会の研究課題

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善

(2) 研究の視点

課題解決に向けた話し合い活動の充実

(3) 具体的な取組

本校では、学校教育目標「自ら学び考え行動する生徒」の育成を目指し、生徒一人一人の自己肯定感と学習意欲を向上させることを主題に、H27・28年度川越市教育委員会及び川越市教育研究会の委嘱を受け、学校研究「一人一人の生徒が生き生きと学ぶ指導法の研究（「わたしの授業」の実践）」に取り組んできた。整備された落ち着いた学習環境の中で、基礎的・基本的な知識及び技能の習得とのバランスを図りながら、思考力・判断力・表現力等の育成を充実させることに取り組み、教職員が「授業でいかに生徒と向き合うか」を学び、教育のプロとして目の前の生徒一人一人の実態に応じた「わ・た・しの授業（生徒にとって「分かる」「楽しい」「主体的な」授業）」の実践を通して指導法の工夫改善を進めてきた。特に、授業の中で一人一人の生徒が「自力でじっくり考えたことを表現する場面」をつくり、言語活動の充実を踏まえ授業を実践する中で、改めて「学びに向かう土台を築く学級づくり」に取り組むことの重要性を認識するに至った。

そこで、今年度は、研究を一層深めるため「特別活動」（学級活動）を組織的かつ計画的に実施することで生徒一人一人の学習意欲を向上させ、学力向上を目指している。主な取組は、

- ・「時を守り場を清め礼を正す」を基軸に、基本的な生活習慣や決まりを守る姿勢を身に付ける。
 - ・「学級活動（1）」を基軸に、学級などの集団で力を合わせて問題に取り組む経験を積む。
 - ・「生徒会活動」「ホームエリア活動」を基軸に、様々な人や地域社会とのつながりを実感する。
- である。

4 評価規準

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団、社会の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
学級の生活の充実と向上に関わる問題に関心を持ち、他の生徒と協力して、自主的、自律的に集団活動に取り組もうとしている。	学級の一員として、自己の役割と責任を自覚し、他の生徒の意見を尊重しながら、よりよい方法について考え、判断し、実践している。	充実した集団生活を築くことの意義や学級の生活づくりへの参画の仕方、学級集団として意見をまとめる話し合い活動の仕方について理解している。

5 事前の活動

月 日（ ）	活動の場	活動の主体	活動の内容	・指導上の留意点 ◎目指す生徒の姿と評価方法
9月	学級活動	全校生徒	・全校生徒に学校生活についてのアンケートを行う。	・落ち着いた雰囲気では答えられるようにする。 ◎問題に関心を持ち、自主的に取り組もうとしている。 (関)【アンケート】

10/24 (火)	全校朝会	全校生徒	<ul style="list-style-type: none"> アンケート結果に基づき決定したプロジェクトについて、生徒会本部が説明を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 課題について、実態を把握し、活動の見通しを持てるようにする。 ◎課題に対して、自分なりの考えを持つようとしている。 <p>(関)【観察】</p>
10/26 (木)	朝の会	学級全員	<ul style="list-style-type: none"> クラスで学校生活についてアンケートを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 落ち着いた雰囲気では答えられるようにする。 ◎課題に関心を持ち、自主的に取り組もうとしている <p>(関)【アンケート】</p>
10/31 (火)	放課後	学級活動委員会	<ul style="list-style-type: none"> アンケート調査を集計し、議題を選定する。 提案理由を練り上げ本時の活動計画を立てて話合いの柱を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> クラスの実態を把握し、生徒の想いを聞きながら、本時の流れなどを検討する。 活動の見通しを持てるようにする。 ◎話合い活動が深まるよう自主的に準備を進めようとしている。 <p>(関)【観察】 【話合い計画書】</p>
11/1 (水)	帰りの会	学級全員	<ul style="list-style-type: none"> 本時の予告をする。学級活動カードを配布し、自分の意見を持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトに向けて取り組んでいくことを学級全体で確認する。 ◎議題に関心を持ち、自主的に自己の考えをまとめている。 <p>(関)【学級活動カード】</p>

6 本時のねらい

- 一人一人が居心地の良いクラスにするために、今後、自分たちでできることは何かを考え、「高西スマイルチャレンジプロジェクト」へ主体的に関わることができる。
- 学級の一員として議題について関心を持ち、互いの考えを生かし合いながら合意形成を図ることができる。

7 本時の展開

	活動の内容	・指導の留意点 ◎目指す生徒の姿 (評価の観点) 【評価方法】	資料等
活動の開始	1 開会の言葉	<ul style="list-style-type: none"> ・学級活動委員会の代表がアンケート結果を発表することにより、解決すべき課題への関心を高める。 ・担任も本活動の意義を説明し、活動意欲を高める。 	目標集計結果 学級会 マニュアル 学級活動カード
	2 学級活動委員の紹介		
	3 議題の発表		
	4 提案理由発表		
	<p>議題 「一人一人が居心地の良いクラスを作ろう」</p>		
<p>【提案理由】 ※提案者：学級活動委員 高階西中は、行事や生徒会活動を通して、学級・学年で団結できる素晴らしい学校です。しかし、全校アンケートでは「全員が楽しい学校にしたい」「悪口やからかいをなくしたい」などの意見もあり、さらに改善が必要だと分かりました。そこで、各学級で「笑顔がいっぱいになる取組（スマイルチャレンジ）」を考え、実践することにより、「一人一人が居心地の良い安全な学校」を作りあげられると考え、提案しました。</p>			
活動の展開	5 話合いのめあて	<p>めあて「自分の考えを持ち、発表の時は相手に分かりやすい言葉で伝える。」</p>	
	<p>◎本時の活動に意欲的に取り組もうとしている。(関) 【観察】</p>		
	6 話合い (1) 柱1について ・スマイルチャレンジについて、クラスの「取組」を考えよう。	<ul style="list-style-type: none"> ・出し合う→比べる→まとめるの3段階討議法で話合いを行わせる。 ・話合いが議題やねらいから逸れないよう、発表のルールや方法について学級活動委員に指導する。 ・否定的な発言や人を傷つける発言などについては、適時指導する。 <p>◎提案理由に基づいて、自分の考えを明確に持ち、理由を示しながら意見を述べている。(知) 【観察】</p> <p>◎他人の意見を尊重しながら、自分も他人もよりよい意見へと話合いを深めている。(思) 【観察・学級活動カード】</p>	学級活動カード
(2) 柱2について ・(1)を実践するための具体的な工夫を考えよう。	<ul style="list-style-type: none"> ・「実践する取組」の見通しを持たせ、具体的な方法や役割分担について決定させる。 <p>◎様々な意見から、集団として決定する方法について理解している。(知) 【観察】</p>		
7 決定事項の確認			
活動のまとめ	8 振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・話合いの反省や自分の決意などを、明確に持たせる。 <p>◎決定事項を学級で守ることの意義を理解し、集団の一員として取り組もうとしている。(関) 【観察・学級活動カード】</p>	学級活動カード
	9 教師の話	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の活動より良くなった点を話す。 ・次回の活動へ向けた課題を話す。 ・学級活動委員等の活動を称賛する。 	
	10 閉会の言葉		

8 事後の活動

月 日 ()	活動の場	活動の主体	活動の内容	・指導上の留意点 ◎目指す生徒の姿と評価方法
11/7 (火) ～ 12/19 (火)	放課後等	学級全員	・話し合い活動における決定事項に基づいて活動する。	・話し合い活動での決定事項を実践しているかどうかを見届け、助言する。 ◎目標の実現に向け、お互いに協力し尊重し合って決定事項を実践している。 (思)【観察】
12/20 (水)	学級活動	学級全員	・学級の取組について、振り返りを行う。	・成果と課題を具体的に記入させ、今後の活動につなげられるよう助言する。 ◎取組の振り返りを今後の活動に生かそうとしている。(関)【振り返りカード】
1月中旬	放課後	生徒会本部 学級委員	・実践報告に向けて、取組の発表準備を行う。	・取組の様子を分かりやすくまとめるよう助言する。 ・取組を分かりやすく伝える準備を理解している。(知)【観察】
1月下旬	学級活動	全校生徒	・各学級の取組について、実践報告会を行う。	・学級や学校の一員として自覚を持って臨むよう助言する。 ◎他の学級の取組をについて、関心を持ち、自主的に取り組もうとしている。(関)【観察】
	帰りの会	学級全員	・実践報告会の振り返りを行う。	・今後の課題について考えさせる。 ・更なるプロジェクトについて視野を持たせる。 ◎取組の振り返りを今後の活動に生かそうとしている。(関)【振り返りカード】

9 板書計画

決定事項	<p>話し合うこと②取組を実践するための具体的な工夫を考えよう。</p>	<p>話し合うこと①取組を考えよう。</p>	<p>話し合いのめあて</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: 60%;"> <p style="text-align: center;">アンケート の集計結果</p> </div>	<p>第四回 学級会</p> <p>議題 一人一人が 居心地の良いクラスを作ろう。</p> <p>提案理由</p>
-------------	--------------------------------------	------------------------	--	--